# 地上デジタル防水テレビ　７型
# ＸＬ－７１８

## 取扱説明書

このたびは、浴室テレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お受け取りください。

Ver.1.41

# 目　次

## ●安全にお使いいただくために

本製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書では、お客様ならびに他の人への危害、物的損害を未然に防ぐための内容を説明しています。
次の表示の区分と図記号の内容をご理解のうえ、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られる場所に保存しておいてください。

■表示マークについて

 警告　この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある場合に表示します。

 注意　この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性がある場合に表示します。

 危険、警告、注意を示しています。

 禁止行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。

必ず行わなければいけない行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。

 警告　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

□製品の取り扱いについて

 本製品を使用する場合、必ず本取扱説明書の注意事項をご確認ください。
また、記載されている警告、注意事項は必ずお守りください。

 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。破損の状態のままご使用を続けますと、火災や感電・故障の原因となります。すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

 本製品の内部に液体、異物を入れないでください。その状態のままご使用を続けますと、火災や感電、故障の原因となります。すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

本製品の改造・分解を行わないでください。事故や火災、感電の原因となります。

本製品は当社以外での修理を行わないでください。

本製品を火中に投入しないでください。破損による火災・けがの原因となります。

水の中でのご使用は感電や故障の原因となります。

誤って水中に落とした場合、感電の原因となりますので、すぐに拾い上げてください。

本製品を電子レンジなどの強い磁界が発生するものに入れないでください。
事故や火災、感電の原因となります。

**警告** 以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

□ 製品の設置について

水中に落ちる恐れのある場所に置かないでください。
水中に落ちた場合、火災や感電、故障の原因となります。

□ 製品の異常について

万一本製品より煙が出る、異臭が発生する、発熱している、異物が入ったなどの異常が見られる場合には、すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止してください。
異常状態のままご使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。
ご購入いただいた販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

□ 外部機器との接続について

外部機器への接続(ケーブルの接続)は濡れた手で行わないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□ 電源ボックスについて

必ず本製品付属の指定品をお使いください。

電源ボックスはAC100Vです。指定電源電圧でお使いください。
指定電源電圧以外で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

日本国外での使用は行わないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

電源ボックスの取り外しをするときは、本体の電源をオフにしてから行ってください。
故障の原因となります。

電源ボックスのコードの加工や、重いものを乗せる、ストーブなどの熱器具へ近づける、加熱するなどの行為は行わないでください。コードが切断・損傷し火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源ボックスを触らないでください。感電や故障の原因となります。

電源ボックス上、または付近に液体の入ったものを置かないでください。

**注意** 以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。

□製品の取り扱いについて

本製品を移動させる場合、電源ボックスや接続機器のコードを全て外してください。
火災や感電、故障の原因となります。

本製品を移動させる場合、しっかりと両手で持ってください。
本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学製品で本製品を拭かないでください。
塗装がはがれて付着したり、樹脂部が溶ける原因となります。

定期的にクリーニングを行ってください。
製品内部にホコリがたまった場合、火災や故障の原因となります。

通風口を塞がないようにしてください。
通風口を塞いだ場合、製品内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

通電中の本製品に長時間触れないでください。低温やけどやけがの原因となります。

表示中の画面を長時間継続して見ないでください。目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。
長時間見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止し休息をとってください。
万一休息しても不快感や痛みが取れない場合には医師にご相談ください。

水や洗剤がかかったら、早めに拭き取ってください。そのまま放置すると、スピーカー部に水がたまり音が小さくなったり、画面に水垢が付いてしまいます。

シャンプーなどがかかったら、軽く水拭きした後、乾いた柔らかい布で拭いてください。
かかったまま放置しますと変色、故障の原因となります。

□製品の設置について

本製品が落下したり、転倒したりする恐れのある不安定な場所、振動の発生する場所に置かないでください。
けがや故障の原因となります。

「設置説明書」をご覧になり、本製品が正しく取り付けられていることをご確認ください。
誤った取り付け状態でご使用の場合、本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

強い磁界や静電気が発生する場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

漏電の発生する危険な場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

ホコリや油煙の多い場所や直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□液晶画面について

液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶画面が破損して、けがや故障の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
万が一口に含んでしまった場合、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合、清浄な流水で１５分以上すすいだあと医師にご相談ください。

# 使用上のご注意

## ■ 電源について

・指定以外の電源は使用しないでください。

## ■ 取り扱い上の注意

・お手入れにはベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。本体が変形したり、塗装がはがれたりします。
汚れのひどいときは柔らかい布を薄い中性洗剤に浸し、硬く絞って拭いてください。
・浴室用洗浄剤が本体にかからないようにしてください。かかった場合には速やかに洗い流してください。
・石けんやシャンプーがついたときには洗い流してください。
・スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
・熱いお湯がかからないようにしてください。また、熱いお湯の中に落とした場合、変形したり故障することがあります。

## ■ 使用温度範囲内で使用する

・サウナで使用しないでください。 (動作温度範囲：0℃～＋60℃)
・動作温度（0℃～＋60℃ ）の範囲外で使用すると、画像の乱れや故障の原因になります。
・0℃より低温、60℃より高温になると映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
常温に戻ると回復します。 (動作温度範囲：0℃～＋60℃)

## ■ 防水についてのご注意

本機およびリモコンは、JIS C 0920（IEC60529 ）「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」のIPX6 相当の防水仕様となっております。　※付属のケーブル類は、防水仕様ではありません。
ご使用前に、以下の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ●IPX6（噴流に対する保護等級）について

常温の水道水にて、機器から約3m離れて、内径12.5mmのノズルであらゆる方向から約100ℓ/分の水を3分以上注水したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

### ●水場での使用時のお願い

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

**・故意に水の中や湯ぶねの中などに入れたり、水中で操作したりしない**
誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布で拭いてください。

**・ミストサウナなど湿気の多い場所に放置しない**

**・サウナで使用しない**

**・高温になる場所にリモコンを置かない**

### ●防水性を保つために

**・リモコンを落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない**
本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

### ●リモコンの電池蓋の取り扱い

・電池の蓋はしっかり確実に閉めてください。
リモコン内部に水が入ると、故障の原因になります。

蓋が開いたまま使用すると内部に水が入り故障の原因になります。ご使用前には、蓋をロックしてください。

### 本機およびリモコンの防水対象液体

| 対応 | 真水、水道水、温水 |
|---|---|
| 非対応 ※ | 石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水 |

※非対応の水中につけないでください。

### ●水場での使用後

・本機およびリモコンを乾いた柔らかい布でふき、屋内においてください。
・石けん水やシャンプーなどがかかった場合は、常温の水道水を弱めの水量にして洗い流したあと、ふいてください。(洗剤で洗わないでください)
・ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
・寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し蓋が開かなくなるなどの原因になります。
・ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。
・手がぬれた状態や本機およびリモコンに水滴が付いたままで蓋を開け閉めしないでください。

防水性を維持するため、2年に1度は本体のゴムパッキンやリモコンの電池蓋などの防水に関する部品の交換（有料）をお勧めします。お買い上げの販売店またはお客様サポートセンターへお問い合わせください。

万一、本機およびリモコン内部に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。
※本体およびリモコンを水の中でご使用になると浸水します。水の侵入による製品の不良については、保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

# 付属品一覧

地上デジタル防水テレビ

設置板

専用同軸ケーブル

電源ケーブル

電源ボックス

設置板用ビス
M4×16：4本

六角レンチ棒

六角穴付きタッピングビス
M4×10：2本

ビスカバー：2個

ビスカバー用ビス
M4×10：2本

防水スポンジ

操作方法説明シール

本体ボタン操作方法
モニター青画面にはリモコン操作方法を表示しています。
◆地上デジタル設定での操作
▲▼▶ ：カーソル移動
[MENU] 短押：設定
[MENU] 長押 / ◀：メニュー終了
◆EPG【番組表】操作
[MENU] 短押で EPG 画面表示
▲▼◀▶：カーソル移動
[MENU] 短押：番組表 / 詳細 切替
[MENU] 長押：EPG 画面終了

フリーダイヤルシール

ご不明点・ご用命は
お客様サポートセンター 土・日・祝祭日を除く 8:30~12:00, 13:00~17:30
0120-25-3930
株式会社ワーテックス

保証書

WATEX 保 証 書
XL-718
年 月 日より24ヵ月
株式会社ワーテックス

取付型紙

取扱説明書

設置説明書

●別売品一覧 (オプション)

専用AVケーブル

専用AVケーブルとなります。
市販のAVケーブルはご使用できません。

リモコン一式

リチウム電池
(CR2025)付属

リモコン用工具付属

リモコン

リモコンホルダー

リモコンホルダー用
両面テープ2枚
ビス×2本付属

# 各部の名称

## 本体正面

スピーカー（左）
音声を出力します。

スピーカー（右）
音声を出力します。

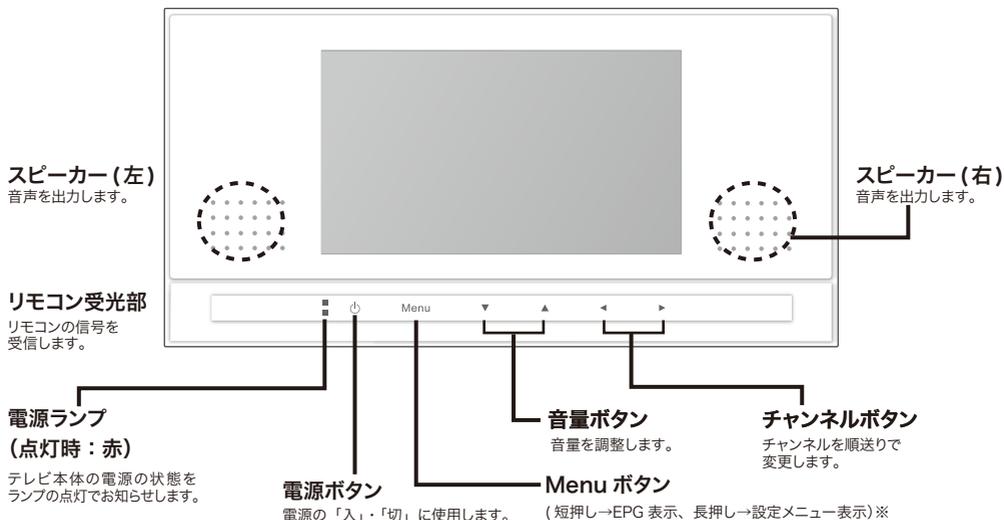
リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

電源ランプ
（点灯時：赤）
テレビ本体の電源の状態をランプの点灯でお知らせします。

電源ボタン
電源の「入」・「切」に使用します。

Menu ボタン
（短押し→EPG 表示、長押し→設定メニュー表示）※

音量ボタン
音量を調整します。

チャンネルボタン
チャンネルを順送りで変更します。

※本紙では、ボタンを短く押す場合を「短押し」、2 秒以上押し続ける場合を「長押し」と表記しています。

## ●システム図

テレビアンテナ UHF
ブースター（市販品）
分配器（市販品）
同軸ケーブル
アンテナ線
電源ケーブルAC100V
漏電遮断器
屋内開閉器（ブレーカー）
電源ボックス
電源ケーブル
電源
AV
AVケーブル（オプション）
オプション
AV機器
DVD・ビデオなど AV出力のあるもの
赤
白
黄
AV機器までの配線を伸ばす場合は、市販の延長ケーブルをご用意ください。

# ※リモコンは別売品です。

別売リモコン

**画面表示ボタン**
視聴中の番組を表示します。

**外部切換ボタン**
入力を切り換えます。

**オフタイマーボタン**
電源を指定時間に切れます。

**電源ボタン**
電源を【入】【切】 します。

**チャンネルボタン**
チャンネルを順送りで変更します。

**チャンネル数字ボタン**
チャンネルを直接選びます。

**音量ボタン**
音量を調節します。

**消音ボタン**
一時的に音を消します。

**番組表ボタン**
電子番組表( EPG )を表示します。

**3桁入力ボタン**
3桁チャンネル番号を入力して選局します。

**番組情報ボタン**
視聴中の番組情報を表示します。

**MENUボタン**
メニュー画面を表示します。

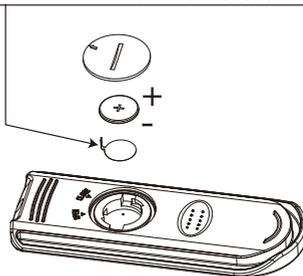
**字幕ボタン**
字幕対応した番組で字幕を表示します。

**決定ボタン**
画面上で選択や決定をします。

**戻るボタン**
1つ前の画面に戻ります。

**▲▼◀▶ボタン**
各種設定において、項目間を移動します。

**音声切換ボタン**
ステレオ／2カ国語放送など音声を切り換えます。

注意　ご使用前に、付属の工具を使って電池蓋を外し、中の絶縁紙を取り除いてください。

# 別売リモコンについて

## 使用上の注意

分解をしないでください。故障の原因となります。

水中に入れたり、中に異物を入れないでください。
感電の恐れや故障の原因となります。

温度や湿度の高い場所に長時間放置しないでください。故障の原因となります。

### 電池の取り扱いについて

○⊕⊖の方向を正しく入れてください。
○長時間使用しないときは、本体から取り出してください。
○指定以外の電池を使用しないでください。

リモコンが正しく動作しない場合は、以下の項目を実行してください。

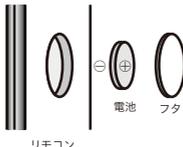
○電池を交換してください。
○電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。
○テレビ本体の電源ボタンを押してください。
○リモコンの先端部を手などで覆わないように操作してください。
○リモコン使用可能範囲で操作してください。

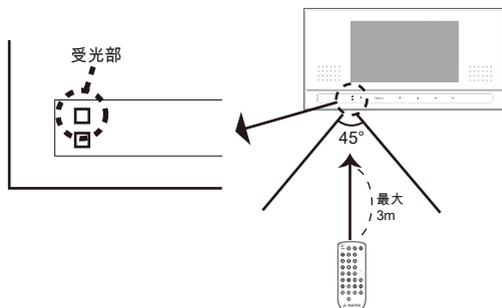
## 仕様

動作範囲：約 3m　左右 45°　上下 30°
電　　源：DC3V　リチウム電池 CR2025　1 個

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

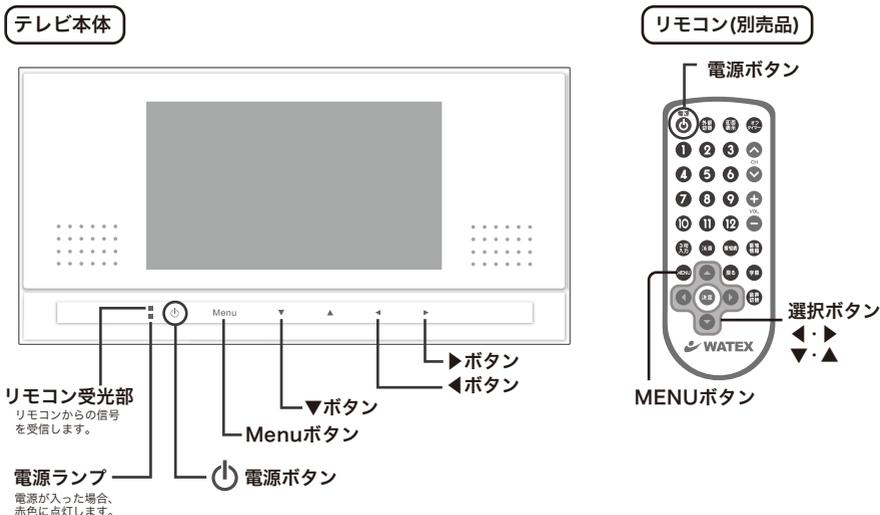
## リチウム電池の入れ方

①裏蓋を付属の工具で矢印の方向に回して開けてください。
※裏蓋は非常に傷つきやすいです。注意して取り扱ってください。

②リチウム電池 CR2025 を⊕⊖の向きを表示のとおりに正しく入れてください。

## 使用方法

リモコンを本体のリモコン受光部に向け、受信可能角度（左右 45°上下 30°）から操作してください。

# 電源を入れる

## テレビ本体または別売リモコンの電源ボタンを押します。

電源ボタンを押すたびに電源が「入」・「切」します。
電源が入った場合、電源ランプが赤色に点灯します。

## B-CASカードの使用許諾について

取扱説明書 11 ページに記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をお読みください。

| 「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面<br><br>取扱説明書に記載されているB-CASカード<br>使用許諾契約約款をお読みください。<br>次のページの操作を行うとB-CASカード<br>使用許諾契約約款は同意とみなされ、<br>地上デジタル放送が視聴できます。<br><br>[▼] を押して次の画面に進んでください。 |
|---|

電源を入れると、左記の画面が表示されます。

テレビ本体または、別売リモコンの▼ボタンを押して次の画面に進んでください。

| 「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面<br>操作は、[MENU] ボタン押下後、<br>20秒以内で行ってください。<br><br>[MENU] ボタンを押す<br>[◀] ボタンを押す<br>[▶] ボタンを押す<br>[MENU] ボタンを押す<br>※操作方法を間違った場合は電源を入れ直して<br>再度操作を行ってください。 |
|---|

下記の手順で操作してください。
Ｍｅｎｕボタンを押したあと、２～４の操作を２０秒以内に行ってください。

1. Ｍｅｎｕボタンを押す
2. ◀ボタンを押す
3. ▶ボタンを押す
4. Ｍｅｎｕボタンを押す

以上の操作を行うとB-CASカード使用許諾契約約款に同意したとみなされ、地上デジタル放送が視聴できます。

## B-ＣＡＳカード使用許諾契約約款 (KB0007C)

特別内蔵用カード

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのＩＣカード（B-ＣＡＳ（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（社団法人電波産業会（ＡＲＩＢ）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。この約款は「特別内蔵用 B-ＣＡＳカード」と「特別内蔵用 miniＢ－ＣＡＳカード」に適用されます。

**第１条（カードの使用目的）**

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

**第２条（カードの所有権と使用許諾）**

このカードの所有権は、当社に帰属します。

２. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

**第３条（カードの故障交換等）**

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

２. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

**第４条（カードの交換依頼）**

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

**第５条（契約の終了）**

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

**第６条（禁止事項）**

第１条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。

２. このカードを使用して、ＢＳデジタル放送や 110 度ＣＳデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

３. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

４. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

**第７条（損害賠償）**

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

**第８条（約款の変更）**

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

**株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ**

## B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。
地上デジタル放送を受信する上で必ず必要になります。

● 本製品に内蔵されているB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。ID番号は大切な番号なので、ご確認のうえ、必ず控えておいてください。ID番号につきましては、本体画面に貼ってあるシールまたは、メニュー画面（22ページ参照）よりご確認ください。

### B-CASカードに関するお問合せ先

B-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　受付時間　10：00～20：00(年中無休)

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

### 取り扱いについての注意

● 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のB-CASカードの番号は控えておいてください。

● 内蔵されているB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。

● 受信契約については、B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みください。

● 約款違反となりますので、本製品を分解してB－CASカードを取り外さないでください。

## 本製品について

本製品は、地上デジタル放送のみ対応しております。
（BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をご覧になることはできません）
本製品は周波数変換パススルー、字幕放送、EPGに対応しております。
データ放送や双方向サービスに対応しておりません。
トランスモジュレーション方式のCATV信号には対応しておりません。
詳しくはCATV放送会社や管理組合へお問い合わせください。

## 設定メニュー【デジタル設定】【受信設定】画面の操作と項目

地上デジタル放送を受信するための設定【デジタル設定】メニューの【受信設定】を行います。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【本　体】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**【本体ボタン】**

Menu

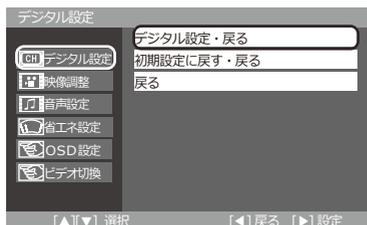
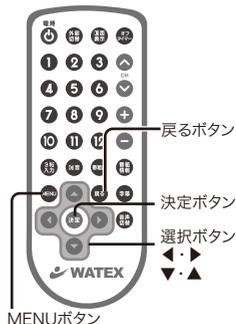
Menuボタン　▼・▲・◀・▶ボタン

**【別売リモコン】**

戻るボタン

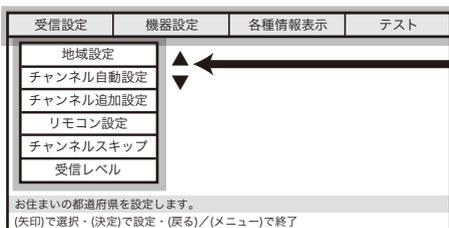
決定ボタン

選択ボタン
◀・▶
▼・▲

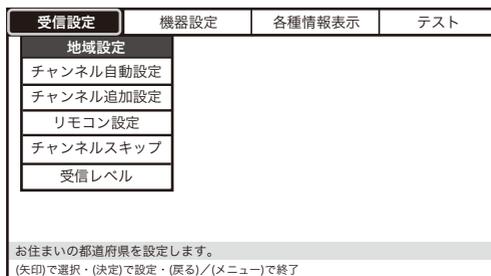
MENUボタン

**2. ▼・▲ で**  **デジタル設定 を選び、▶を押す**

**右画面の デジタル設定・戻る を選び、▶を押す（◀で左画面に戻ります）**

↓

デジタル設定メニュー画面に切り換わります。

| 本体での画面操作方法 | リモコンでの画面操作方法 |
|---|---|
| ▶：カーソル移動 | ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 | ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 | 決定：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る | 戻る：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 | MENU：終了 |

### テレビを見るための初期設定を行います。

**受信設定**　【地域設定】【チャンネル自動設定】【チャンネル追加設定】【リモコン設定】【チャンネルスキップ】【受信レベル】の6つのメニューがあります。

【地域設定】にてお住まいの地域を設定し、その後【チャンネル自動設定】で受信できるチャンネルを自動的に登録します。

**◎地域設定（→14ページ）**
お住まいの地域を設定

**◎チャンネル自動設定（→15ページ）**
受信できるチャンネルを設定

**◎チャンネル追加設定（→16ページ）**
受信状況が変わったときに
受信できる放送局を追加で設定

**◎リモコン設定（→17ページ）**
各放送局をお好みのリモコン番号に割り当て

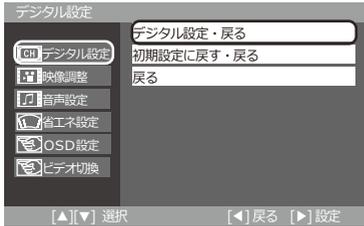
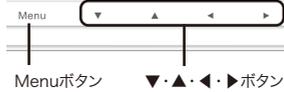
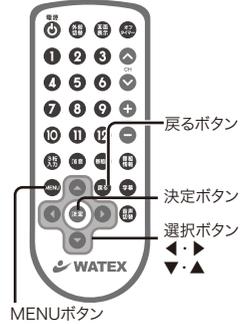
**◎チャンネルスキップ（→18ページ）**
表示スキップする放送局を設定

**◎受信レベル（→19ページ）**
現在受信しているチャンネルの受信レベル

# 地上デジタル放送の設定（受信設定：地域設定）

## 地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域の設定をします。

デジタル設定の受信設定(地域設定)をします。はじめに、【デジタル設定】メニューを表示します。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で CH デジタル設定 を選び、▶を押す**

**右画面の デジタル設定・戻る を選び、▶を押す（◀で左画面に戻ります）**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【地域設定】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

| 本体での画面操作方法 | リモコンでの画面操作方法 |
|---|---|
| ▶：カーソル移動 | ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 | ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 | 決定：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る | 戻る：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 | MENU：終了 |

お住まいの地域を選びます。

**4. ❶ ▲・▼でお住まいの地域を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**
**❷ ▲・▼でお住まいの都道府県を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト

＞地域設定

| | ❶ | ❷ |
|---|---|---|
| 地域設定 | 北海道 | 東京 |
| チャンネル自動設定 | 東北 | 神奈川 |
| チャンネル追加設定 | 関東 | 群馬 |
| リモコン設定 | 信越/北陸 | 茨城 |
| チャンネルスキップ | 中部/東海 | 千葉 |
| 受信レベル | 近畿 | 栃木 |
| | 中国/四国 | 埼玉 |
| | 九州/沖縄 | 山梨 |

お住まいの都道府県を設定します。
(矢印)で選択・(決定)で設定・(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

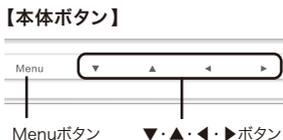
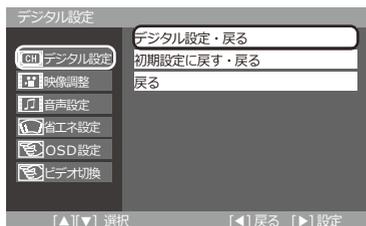
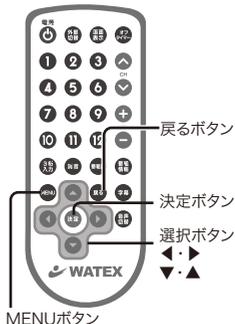
地域設定 終了です。続いて15ページ【チャンネル自動設定】を設定してください。

**※【地域設定】都道府県を必ず設定してから【チャンネル自動設定】を設定してください。**

# 地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネル自動設定）

**お住まいの地域で受信できる各放送局を自動的に検索し、視聴可能状態に設定します。**

デジタル設定の受信設定(チャンネル自動設定)をします。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で CH デジタル設定 を選び、▶を押す**

**右画面の デジタル設定・戻る を選び、▶を押す（◀で左画面に戻ります）**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【チャンネル自動設定】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

**4.【探す（全チャンネル）】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

UHFのみを検索する場合、【探す(UHF 13〜62CH)】を選びます。

受信できる放送局を自動的に検索します。※約4分程度かかります。受信できるチャンネルの一覧が表示されます。

**5.【更新する】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

| 本体での画面操作方法 |
|---|
| ▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 |

| リモコンでの画面操作方法 |
|---|
| ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| 決定：決定 |
| 戻る：一つ前の画面へ戻る |
| MENU：終了 |

**■中止する場合**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

**6. メニュー画面を終了する**
**【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**前画面に戻る**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

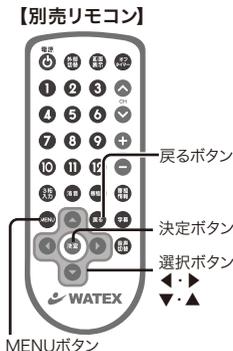
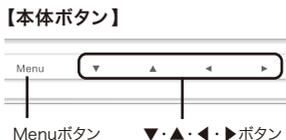
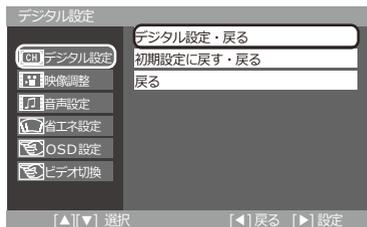
# 地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネル追加設定）

**お住まいの地域で受信できる放送の受信状況が変わったとき受信できる放送局を追加で設定します。**

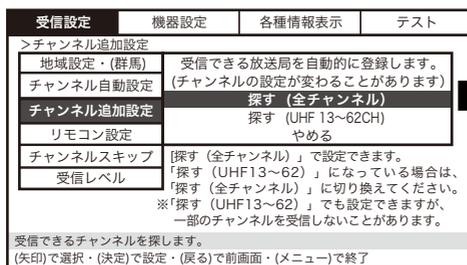
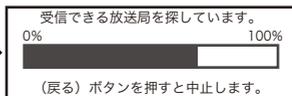
デジタル設定の受信設定(チャンネル追加設定)をします。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**【本体ボタン】**

**【別売リモコン】**

**2. ▼・▲ で [CH デジタル設定] を選び、▶を押す**

**右画面の [デジタル設定・戻る] を選び、▶を押す (◀で左画面に戻ります)**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【チャンネル追加設定】を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

**(先に14ページ【地域設定 】をしてから実行してください)**

受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。

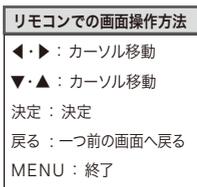
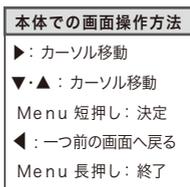
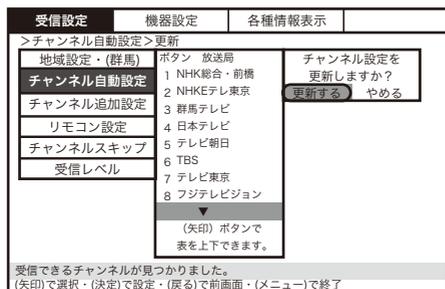
**4. 【探す (全チャンネル) 】を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

UHFのみを検索する場合、【探す(UHF 13～62CH)】を選びます。

受信できる放送局を自動的に検索します。※約4分程度かかります。受信できるチャンネルの一覧が表示されます。

**5. 【更新する】を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

| 本体での画面操作方法 |
| --- |
| ▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 |

| リモコンでの画面操作方法 |
| --- |
| ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| 決定 ：決定 |
| 戻る ：一つ前の画面へ戻る |
| MENU ：終了 |

**■中止する場合**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

**■受信できる放送局が検索されなかった場合**

「受信できる放送局が見つかりませんでした。」とメッセージが表示されます。

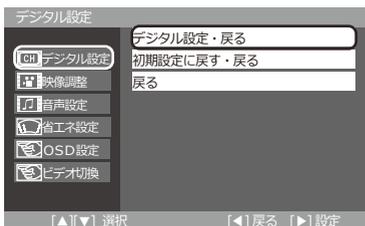
**6. メニュー画面を終了する**
**【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

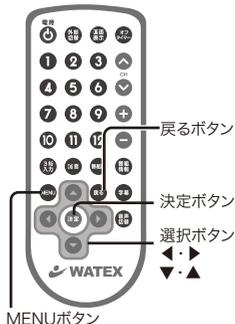
**前画面に戻る**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

# 地上デジタル放送の設定（受信設定：リモコン設定）

## 各放送局をお好みのリモコン番号①～⑫に割り当てます。 ※リモコンは別売品です。

デジタル設定の受信設定(リモコン設定)をします。 ※リモコンがない場合、放送局を割り当てても操作できません。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

【本体ボタン】

【別売リモコン】

**2. ▼・▲ で [CH デジタル設定] を選び、▶を押す**

**右画面の [デジタル設定・戻る] を選び、▶を押す（◀で左画面に戻ります）**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【リモコン設定】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

各放送局をお好みのリモコン番号に割り当てます。

**4. ❶ ▼・▲ で変更するリモコン番号(ボタン)を選び、Menuボタンを押す(リモコンの場合、決定ボタン)**
**❷ 続いて変更する放送局を▼・▲ で選び、Menuボタンを押す(リモコンの場合、決定ボタン)**

各放送局をお好みのリモコン番号に割り当てたらメニュー画面を終了します。

**5. メニュー画面を終了する**
**【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

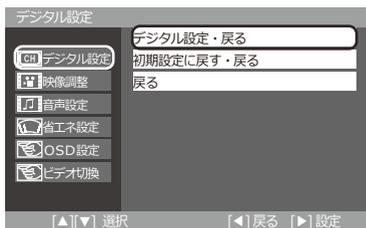
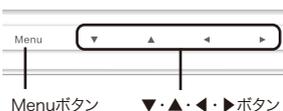
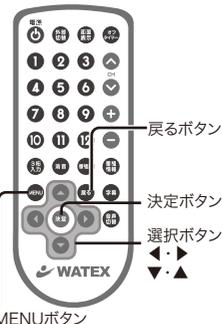
**前画面に戻る**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

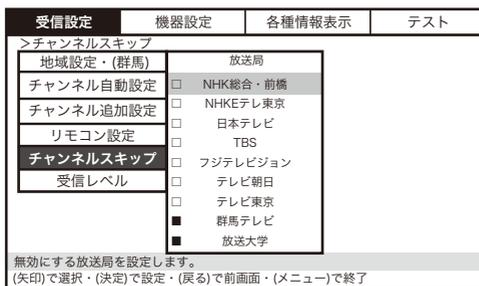
別売リモコンのチャンネル数字ボタンを押すと設定したチャンネルが表示されます。

# 地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネルスキップ）

## 視聴しないチャンネルをスキップ、非表示にすることができます。

デジタル設定の受信設定(チャンネルスキップ)を設定します。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で CH デジタル設定 を選び、▶を押す**
**右画面の デジタル設定・戻る を選び、▶を押す (◀で左画面に戻ります)**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【チャンネルスキップ】を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

| 本体での画面操作方法 |
| --- |
| ▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 |

| リモコンでの画面操作方法 |
| --- |
| ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 |
| 決定：決定 |
| 戻る：一つ前の画面へ戻る |
| MENU：終了 |

**4. ▼・▲ で無効にする放送局を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**
もう一度、Menuボタン(リモコンの場合、決定ボタン)を押すとチェックが外れます。
無効にした放送局は、■チェックボックスにマークされます。

スキップする放送局を選び終わりましたら、メニュー画面を終了します。

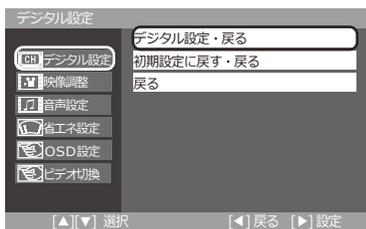
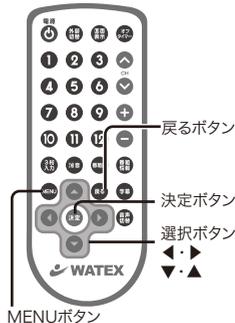
**5. メニュー画面を終了する**
**【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**前画面に戻る**
**【 本　体 】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

※ スキップ設定した放送局は、番組表に表示されなくなります。
※ スキップ設定した放送局は、①～⑫ のリモコン番号(チャンネル数字ボタン)でも選局できなくなります。
※ 全ての放送局をスキップにした場合は、「全てのチャンネルがスキップ設定されています」と
メッセージが表示されます。

## 各放送局のアンテナの受信レベル（電波の強さ）を確認します。

デジタル設定の受信設定(受信レベル)を選択します。

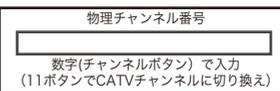
**1. 設定メニューを表示する ⇒【本　体】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で CH デジタル設定 を選び、▶を押す**

**右画面の デジタル設定・戻る を選び、▶を押す（◀で左画面に戻ります）**

**3. ▼・▲ で【受信設定】の【受信レベル】を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

**4. ▼・▲ で受信レベルを確認したいチャンネルを選び、Menuボタンを押す(リモコンの場合、決定ボタン)**

**5.** 〈物理チャンネルを指定して受信レベルを表示させる場合〉
**▼・▲ で(物理CH指定)を選び、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

- 物理チャンネル番号を 入力して確認する場合
  ▼で一番下に表示されている「物理CH指定」を選択し、「1」～「62」のチャンネル番号を入力します。
- CATV放送を入力する場合
  リモコン番号「11」を押してから、該当するチャンネル番号を入力します。

(物理CH指定)にて入力された番号が「0」または「63」以上の場合、「使えないチャンネル番号です」とメッセージが表示されます。

**6. メニュー画面を終了する**
**【本　体】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**前画面に戻る**
**【本　体】◀を押す**
**【リモコン】戻るボタンを押す**

**※物理チャンネルについて(地上波)**

地上デジタル放送は、UHFの電波を使用して各放送局より送信されています。
13〜62までのチャンネル番号が各放送局に割り当てられており、このチャンネル番号を物理チャンネルといいます。

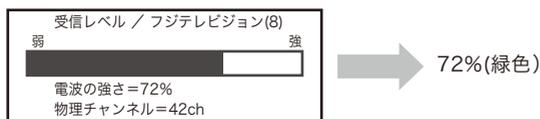
**※ケーブルテレビにご加入のお客様へ**

・本機は、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しております。
【受信レベル】で（物理CH指定）を選択して受信レベルを確認する場合、入力できるチャンネル番号は「13」〜「63」となります。
・同一周波数パススルー方式の場合は、地上波を選択してCATV放送の受信レベルを確認してください。
入力できるチャンネル番号は「13」〜「62」となります。

**※受信レベルは電波の強さを表します。**

地上デジタル放送は、電波の強さと品質でテレビ画像の映りが変わるため、受信レベルが緑色（60%以上）であっても良好な画質が得られない場合があります。その場合は、お近くの電気店とご相談して、アンテナの向きを地上デジタル放送の電波塔の方向に変更するなどの調整をしてください。

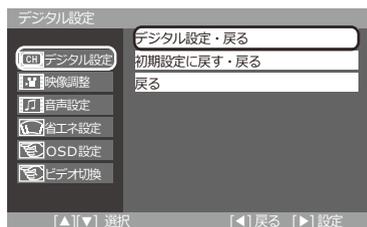
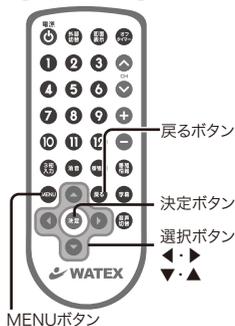
**電波の強さの値により受信レベルを示すバーグラフの色が変わります。**

・緑色→正常に映る受信レベル（60〜100%）
・黄色→映像が乱れる場合がある受信レベル（40〜59%）
・赤色→映像が正常に映りにくい受信レベル（0〜39%）

# そのほかのデジタル設定

## デジタル設定　【機器設定】【各種情報表示】【テスト】

デジタル設定の各種設定をします。

**1.** **設定メニューを表示する ⇒【本　体】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

【本体ボタン】

【別売リモコン】

**2.** **▼・▲ で** CH デジタル設定 **を選び、▶を押す**

**右画面の** デジタル設定・戻る **を選び、▶を押す (◀で左画面に戻ります)**

**3.** **機器設定** 【暗証番号】【字幕・文字スーパー】【音声切換】【番組表取得表示設定】の4つのメニューがあります。

**▶で【機器設定】を選び、▼・▲で項目を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

※本体◀を押すと、前画面に戻ります。

| 本体での画面操作方法 | リモコンでの画面操作方法 |
|---|---|
| ▶：カーソル移動 | ◀・▶：カーソル移動 |
| ▼・▲：カーソル移動 | ▼・▲：カーソル移動 |
| Menu 短押し：決定 | 決定：決定 |
| ◀：一つ前の画面へ戻る | 戻る：一つ前の画面へ戻る |
| Menu 長押し：終了 | MENU：終了 |

### ① 暗証番号

**別売リモコンがないと暗証番号を更新できません。**

暗証番号の更新を行います。
※暗証番号は必ずメモしてください。
※初期設定値は『9999』です。

### ② 字幕・文字スーパー

別売リモコンの字幕ボタンを押しても切り換えられます。

字幕・文字の表示設定を行います。
表示の有無や第一・第二言語の設定を行います。
(第一・第二言語は放送内容により異なります)

### ③ 音声切換

別売リモコンの音声切換ボタンを押しても切り換えられます。

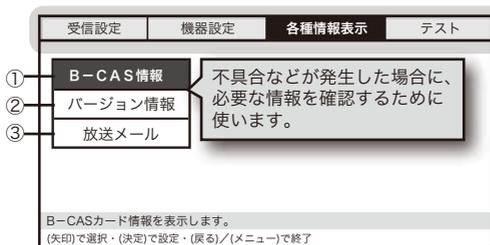
音声の切換動作を設定します。
主音声・・・主音声を出力します。
副音声・・・副音声を出力します。
主＋副・・・左スピーカー→主音声
　　　　　　右スピーカー→副音声

### ④ 番組表取得設定

番組表のデータを取得する・しないを設定します。
取得する　・・・番組表データを取得します。
取得しない・・・番組表データを取得しません。

## 4. 各種情報表示

B-CASカード番号、本機のソフトウェア情報、放送メールを表示して確認します。

**▶で【各種情報表示】を選び、▼・▲で項目を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

※本体◀を押すと、前画面に戻ります。

① **B−CAS情報：** B−CASカードの情報を表示します。

② **バージョン情報：** ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

③ **放送メール：** 放送メールを表示します。※放送メールがない場合は、空欄のまま何も表示されません。

## 5. テスト

システム動作テストを行います。

**▶で【各種情報表示】を選び、▼・▲で項目を選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

※本体◀を押すと、前画面に戻ります。

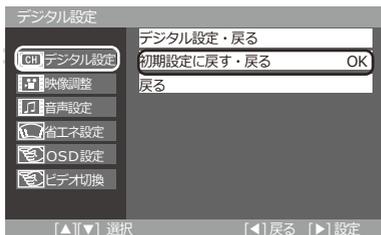
① **B−CASテスト：** B-CASカードが正しく装着されているかをテストします。

※カードに問題がない場合は「 B-CASカードは問題ありません。(戻る)ボタンを押してください 」とメッセージが表示されます。

※カードに問題がある場合は「 B-CASカードのテストでエラーが見つかりました。(戻る)ボタンを押してください 」とメッセージが表示されます。この表示が出た場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

② **全設定消去：** 「受信設定」「機器設定」の設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。
暗証番号を入力し設定消去します。

**※ 別売リモコンがない場合、暗証番号が入力できないため、使用できません。**

**※ デジタル設定の【全設定消去】(初期化)は設定メニュー画面の CH デジタル設定 の 初期設定に戻す・戻る で暗証番号(リモコン)なしで実行できます。**

### デジタル設定を初期化する

工場出荷時の状態に戻します

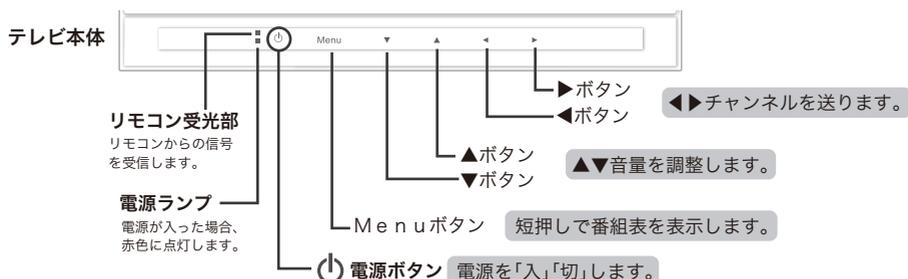
❶ 設定メニューを表示する ⇒
**【本　体】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

❷ **▼・▲ で CH デジタル設定 を選び、▶を押す**

❸ **右画面の 初期設定に戻す・戻る を▼・▲ で選び、▶を押す (リモコンの場合、選択後決定ボタンを押す)**

OKと表示され、デジタル設定の設定内容(「受信設定」・「機器設定」)が工場出荷時の状態に戻ります。

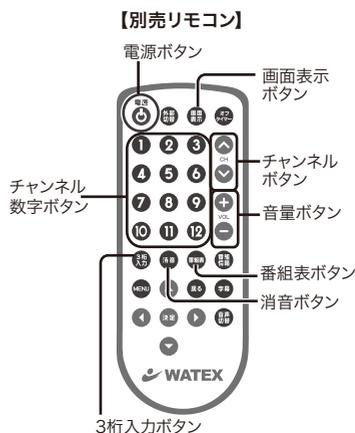
## 1. 電源を入れる

本体または別売リモコンの電源ボタンを押します。
押すたびに電源を「入」・「切」します。

## 2. チャンネルを選ぶ

◎ 本体の◀・▶でチャンネルを選びます。

◎ 別売リモコンのチャンネルボタンまたは、
　チャンネル数字ボタンで選びます。
　リモコン番号①～⑫

◎ 別売リモコンの3桁チャンネル番号を入力して選びます。
　リモコンの3桁入力ボタンを押して
　チャンネル数字ボタンで番号を入力します。

◎ 別売リモコンの番組表ボタンで番組表を表示し
　▼・▲・◀・▶ボタンで選び、決定ボタンを押します。

## 3. 音量を調整する

◎ 本体の▼・▲ボタンを押して音量を調整します。
　または別売リモコンの音量ボタンで調整します。

◎ 音を一時的に消すには
　本体の▼ボタンを押して音量を０にします。（別売リモコンの場合⊖ボタン）
　または、別売リモコンの消音ボタンを押します。

## 4. チャンネルの表示をする

別売リモコンの画面表示ボタンを押します。
選択中のチャンネル番号または外部入力モードが画面右上に表示されます。

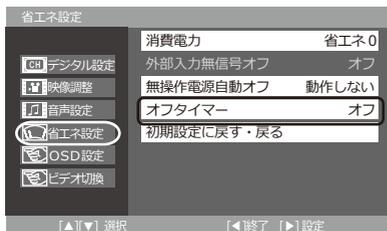
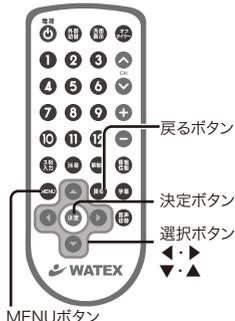
## 5. 電源を切る

本体またはリモコンの電源ボタンを押します。
押すたびに電源を「入」・「切」します。

# 電源を切る時間を設定する　オフタイマー設定

## オフタイマーを設定し、指定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

●オフタイマーの初期設定は、「オフ」で設定されています。
●オフタイマーの動作中に本機の電源をオフにすると、オフタイマーの残り時間はクリアされます。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【本　体】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で 省エネ設定 を選び、▶を押す**

**3. ▼・▲ で右画面で オフタイマー　オフ を選び◀または、▶を押す**

**4. ◀・▶ で表示時間のいずれかを選び、本体Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

**5. ▼・▲ で 初期設定に戻す・戻る を選び◀で前画面へ戻る**

**6. メニュー画面を終了する**
**【本　体】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

## 別売リモコンからのオフタイマー設定

別売リモコンのオフタイマーボタンでも設定できます。

**1. オフタイマーボタンを押す**　テレビの画面にオフタイマーが表示されます。

・すでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは、「オフ」と表示されます。
・解除するときは、オフタイマーボタンを「オフタイマーオフ」が表示されるまで押してください。

オフタイマーボタンを押すたびに変化します。

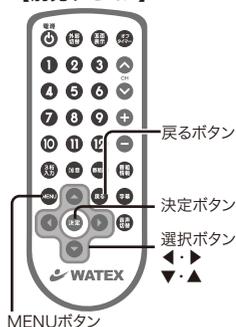
**オフ→15 分→30 分→60 分→90 分→120 分**

# 映像調整

## お好みの映像に調整します。

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

【本体ボタン】

【別売リモコン】

**2. ▼・▲ で 映像調整 を選び、▶を押す**

**3. 右画面の項目を▼・▲ で選び▶を押す**

**4. 左画面に戻るときは▼・▲ で「初期設定に戻す・戻る」を選び◀を押す**

映像モード　鮮やか

**◀・▶で【映像モード】のいずれかを選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

映像モード　［MENU］/決定

鮮やか　標準　柔らか　お好み

| 調整項目 | 鮮やか | 標準 | 柔らか | お好み |
|---|---|---|---|---|
| | 明るく、迫力のある映像で楽しむとき | お部屋で落ちついた雰囲気で楽しむとき | お部屋を少し暗くして柔らかみのある雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します。） | お好みに調整した映像で見るとき（調整方法は次のページをご参照ください。） |

明るさ　コントラスト　色の濃さ　色あい　シャープネス

**◀・▶でお好みの映像に調整し、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

色あい　[MENU] /決定　35

シャープネス　[MENU] /決定　25

| 調整項目 | 調整範囲 | 内　　容 | カーソルボタン |
|---|---|---|---|
| 明るさ | 0～60 | お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。 | 暗くなる⇔明るくなる |
| コントラスト | 0～60 | 画像のコントラストを調整できます。 | 弱くなる⇔強くなる |
| 色の濃さ | 0～60 | 色の濃さを調整できます。 | 薄くなる⇔濃くなる |
| 色あい | -30～+30 | 色あいを調整できます。 | 黄色っぽくなる⇔赤色っぽくなる |
| シャープネス | 0～60 | 画像の輪郭を調整できます。 | 弱くなる⇔強くなる |

色温度・ノイズ低減・戻る　・・・

**▼・▲ で** 色温度・ノイズ低減・戻る　・・・ **を選び、▶で次画面へ進む /◀で左画面へ戻る**

**次画面** ▼・▲ で【色温度】または【ノイズ低減 】を選び、◀・▶ で調整します。

| | |
|---|---|
| 色温度 | 標準 |
| ノイズ低減 | 低 |
| 戻る | |

【戻る】を選び、◀または▶を押すと前画面に戻ります。

**色温度**

**◀・▶で【色温度】のいずれかを選び、本体Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

・暖1、暖2は全体的に橙色に見えます。寒1、寒2は青色に見えます。
お好みに合わせて設定してください。

**ノイズ低減**

**◀・▶で【ノイズ低減】のいずれかを選び、本体Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

・ノイズ低減を「高」寄りに設定するほど、小さなノイズを感知してノイズの少ない映像を視聴できるようになります。
設定されている地域や環境によりノイズが多い場合、本機の内部処理に影響があり、画像停止などの症状が起きてしまい、正常に視聴できないことがあります。視聴されている状況に合わせて設定してください。

初期設定に戻す・戻る　▶【映像調整】のすべての項目を初期の設定に戻す / ◀左画面に戻る

**▼・▲ で** 初期設定に戻す・戻る **を選び、▶（リモコンの場合、決定ボタン）を押す**

「OK」と表示され、映像調整のすべての項目が工場出荷時の状態に戻ります。

映像調整のすべての項目が初期値に戻ります。

**▼・▲ で** 初期設定に戻す・戻る **を選び、◀を押す**

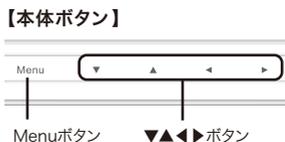
左画面へ戻ります。

**5. メニュー画面を終了する**

**【本　体】Menuボタンを2秒間長押しする 【リモコン】MENUボタンを押す**

# 音声設定

## お好みの音声に調整します。

**1.** **設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2.** **▼・▲ で** 音声設定 **を選び、▶を押す**

**3.** **右画面の項目を▼・▲ で選び▶を押す**

**4.** **左画面に戻るときは▼・▲ で「初期設定に戻す・戻る」を選び◀を押す**

### バランス　低音　高音

**◀・▶でお好みの音声に調整し、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

| 調整項目 | 調整範囲 | 内　容 |
|---|---|---|
| バランス | 左10～右10 | 左右のスピーカーから出力される音声の割合を調整できます。 |
| 低音 | -5～+5 | スピーカーから出力される低音を調整できます。 |
| 高音 | -5～+5 | スピーカーから出力される高音を調整できます。 |

### 音質設定・戻る　・・・

**▼・▲ で** 音質設定・戻る　・・・ **を選び、▶を押す**
**◀・▶でお好みの音質設定を選択し、本体Menuボタン (リモコンの場合、決定ボタン) を押す**

音質設定　［MENU］/決定
標準　映画　ライブ　お好み

| | 標準 | 映画 | ライブ | お好み |
|---|---|---|---|---|
| 調整項目 | 音域が一律、基準となる設定です。 | 低音域を強めに設定してあります。迫力があるように感じる音声を出力します。 | 中高音域を強めに設定してあります。賑やかに感じる音声を出力します。 | 各音域を調整するとお好みの音質設定数値が記憶されます。 |

お好みで各値を高く設定すると、良い音声が聞こえるようになるとともにノイズや不快と思われる音声なども聞こえやすくなります。お好みに合わせて調整してください。

設定終了後▼・▲で「戻る」を選び本体Menuボタン（リモコンの場合、決定ボタン）を押し、左画面に戻ります。
◀で設定メニューを終了します。

ビープ音　▶ボタン操作の音量を（オフ/小/中/大）から選択できます。

**◀・▶でボタン操作の音量を調整し、Menuボタンを押す（リモコンの場合、決定ボタン）**

| ビープ音 | ［MENU］/決定 | | |
|---|---|---|---|
| オフ | 小 | 中 | 大 |

初期設定に戻す・戻る　▶【音声設定】のすべての項目を初期の設定に戻す / ◀左画面に戻る

**▼・▲ で** 初期設定に戻す・戻る **を選び、▶（リモコンの場合、決定ボタン）を押す**

「OK」と表示され、音声設定のすべての項目が工場出荷時の状態に戻ります。

初期設定に戻す・戻る
↓
初期設定に戻す・戻る　OK　音声設定のすべての項目が 初期値に戻ります。

**▼・▲ で** 初期設定に戻す・戻る **を選び、◀を押す**
左画面へ戻ります。

## 5. メニュー画面を終了する

**【本 体】Menuボタンを2秒間長押しする 【リモコン】MENUボタンを押す**

## 6. そのほかの音声設定

別売リモコンの音声切換ボタンを使用します。

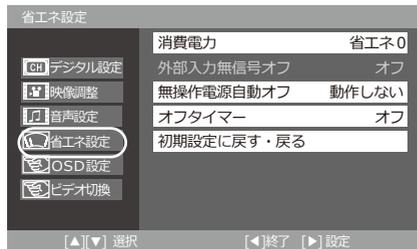
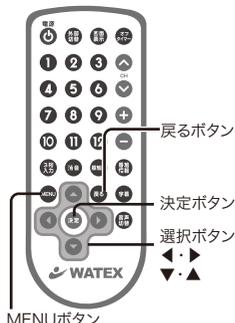
**◎音声切換**

音声の切換動作を設定します。
主音声・・・ 主音声を出力します。
副音声・・・ 副音声を出力します。
主＋副・・・ 左スピーカー→主音声
　　　　　　右スピーカー→副音声

デジタル設定の機器設定の項目からも設定できます。(21ページ)

**【別売リモコン】**

## 省エネ機能

**1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

**2. ▼・▲ で 省エネ設定 を選び、▶を押す**

**3. 右画面の項目を▼・▲ で選び▶を押す**

**4. 左画面に戻るときは▼・▲ で「初期設定に戻す・戻る」を選び◀を押す**

### 項目設定

(例)【消費電力】

**◀・▶でお好みの設定状態を選び、本体Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)**

**▼・▲ で 初期設定に戻す・戻る を選び、◀を押す**　左画面へ戻ります。
**◀で設定メニュー終了**

ほかの項目を設定するときもこの手順で設定してください。

**◎ 消費電力**

バックライトを調整することで、画面全体の明るさを変えて、消費電力を低減する機能です。
【省エネ0】：バックライトが一番明るいモード
【省エネ1】：明るさをおさえた省エネモード
【省エネ2】：明るさを【省エネ1】よりさらにおさえた省エネモード

**◎ 外部入力無信号オフ**

【オン】：外部入力選択時に無信号状態が約15分続くと、自動的に電源が切れます。
【オフ】：外部入力選択時に無信号状態が約15分続いても、電源が切れません。

**◎ 無操作電源自動オフ**

【動作する】　：無操作状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
【動作しない】：無操作状態が約3時間続いても、電源が切れません。

**◎ オフタイマー**　：リモコンからも設定できます。(24ページ)

指定した時間経過後に自動的に電源が切れます。
オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が項目に表示されます。
設定されていないときはオフと表示されます。

**◎ 初期設定に戻す・戻る**

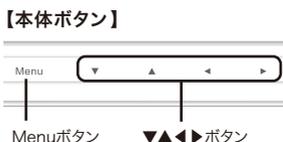
◀で前画面へ戻る
▶で【省エネ設定】内で設定した項目を初期状態に戻します。

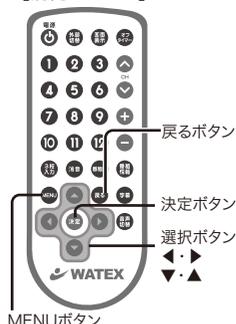
**5. メニュー画面を終了する**
**【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする　【リモコン】MENUボタンを押す**

# OSD設定

ＯＳＤとは【On-Screen Display】の略称です。本機を操作することでテレビ画面上へ表示する各種情報やメニュー画面をＯＳＤと表記しています。

## メニュー表示画面の設定をします。

1. 設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを２秒間長押しする
【リモコン】MENUボタンを押す

【本体ボタン】

【別売リモコン】

2. ▼・▲ で OSD設定 を選び、▶を押す
3. 右画面の項目を▼・▲ で選び▶を押す
4. 左画面に戻るときは▼・▲ で「初期設定に戻す・戻る」を選び◀を押す

### 表示時間

◀・▶ で【表示時間】のいずれかを選び、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)

※リモコンや本体ボタンを操作することで画面に表示されるＯＳＤ
　のなかには、この設定時間が適用されないものもあります。

設定終了後▼・▲で「戻る」を選び本体Menuボタン（リモコンの場合、決定ボタン）を押し、左画面に戻ります。
◀で設定メニューを終了します。

### 透 明 度

◀・▶ でお好みの透明度に調整し、Menuボタンを押す (リモコンの場合、決定ボタン)

・透明度は４段階に切り換えることができます。透明度を「０」にするとＯＳＤがはっきり表示されますが、ＯＳＤの後ろになる画像が見えなくなります。透明度を「４」に近づけるとＯＳＤの表示が段階的に薄くなり、ＯＳＤの後ろにある画像が見えるようになります。お好みに合わせて切り換えてください。

設定終了後▼・▲で「戻る」を選び本体Menuボタン（リモコンの場合、決定ボタン）を押し、左画面に戻ります。
◀で設定メニューを終了します。

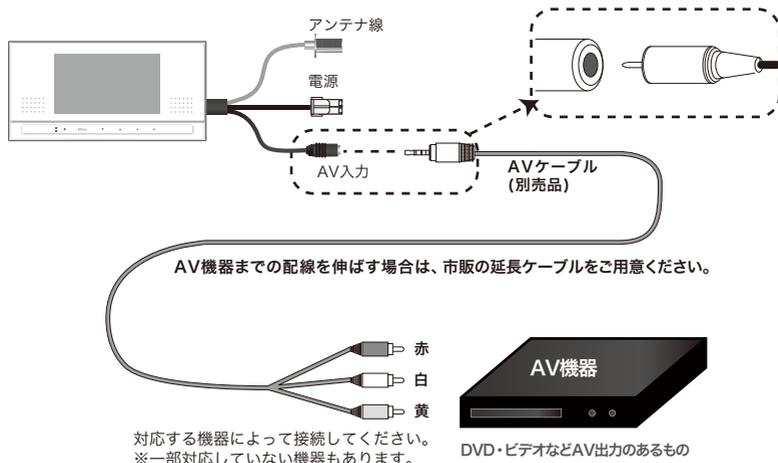
5. メニュー画面を終了する
【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする　【リモコン】MENUボタンを押す

# 外部機器をつないで使う

**ビデオ、DVDプレイヤーなどの外部機器を接続することができます。**

## 1. 外部入力との接続について

接続ケーブルのAV入力端子に4極φ3.5ステレオミニジャックを接続します。

※別売専用AVケーブルが必要となります。市販のAVケーブルはご使用できません。

## 2. 外部接続を見るには

①本体の設定メニューで入力切換または、別売リモコンの外部切換ボタンを押し、入力を切り換えます。

**(設定メニューからの入力切換)**

**設定メニューを表示する ⇒【 本　体 】Menuボタンを2秒間長押しする**
**【リモコン】MENUボタンを押す**

リモコンの外部切換ボタンで外部接続に切り換わります。

**▼・▲ で** ビデオ切換 **を選び、▶を押す**

テレビ入力切換・戻る **を選び、▶を押す**

（◀を押した場合は、左画面に戻ります。もう一度◀を押すと設定メニューが終了します。）

②使用する外部機器を操作します。

※外部機器の操作方法は外部機器側の取扱説明書をご覧ください。

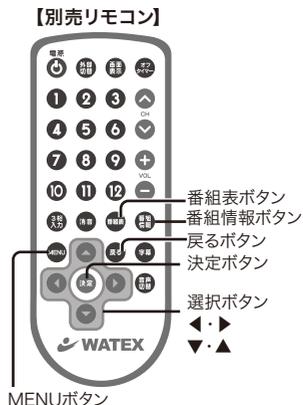
③本体の▼・▲または、別売リモコンの音量ボタンで音量を調整します。

# ＥＰＧ（電子番組表）

## 番組表を表示します。

**番組表を表示する ⇒【 本　体 】Ｍｅｎｕボタンを押す (短押し)**
**【リモコン】番組表ボタンを押す**

ＴＶ視聴中に本体のＭｅｎｕボタンまたはリモコンの番組表ボタンを押すと、ＥＰＧ(電子番組表)が表示されます。

※ 放送局が番組情報を送信していない時は表示されません。
　また【番組表取得設定】が「取得しない」になっている場合（21ページ参照）は表示されません。

**（本体操作方法）**

**▼・▲・◀・▶：上下左右にカーソル移動**
**Ｍｅｎｕボタン：選択中の番組内容を詳細表示します。**
**Ｍｅｎｕボタン長押し ：ＥＰＧ(番組表)を終了します。**

**（リモコン操作方法）**

**▼・▲・◀・▶：上下左右にカーソル移動**
**番組情報ボタン ：選択中の番組内容を詳細表示します。**
**決定ボタン： 選択している放送局に切り換えます。**
**戻るボタン： ＥＰＧ(番組表)を終了します。**

# 故障かなと思ったら

**修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。**

| 映像も音声も出ない |
|---|
| ・製品本体の電源ボタンを押して、電源を入れ直します。電源が入った後、電源ランプが赤色に点灯していることを確認してください。<br>・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の電源が入っていることを確認してください。<br>・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。<br>・入力モードは合っていますか？テレビ／ビデオの入力モードを確認してください。 |
| 音声は出るが、映像が出ない |
| ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。<br>・『明るさ』、『コントラスト』、『色の濃さ』、『色あい』、『シャープネス』を調整してください。(25ページ) |
| 映像は出るが、音声が出ない |
| ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。<br>・製品本体の音量調節ボタンを押して、音量を上げてください。 |
| テレビが映らない |
| ・アンテナ接続時はアンテナが接続されているか確認してください。また、アンテナがＵＨＦアンテナであるか確認してください。ＶＨＦアンテナでは受信できません。<br>・アンテナの向きが地上デジタルテレビ放送を送信している中継局へ向いているか確認してください。<br>・ケーブルテレビで接続している場合、ご契約のケーブルテレビ会社が周波数パススルー（全帯域）方式に対応しているかをご確認ください。トランスモジュレーション方式の場合はＳＴＢ（セットトップボックス）を接続してください。 |
| 特定のチャンネルの受信ができない |
| ・チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。また、チャンネル追加設定で再度チャンネルサーチを行ってみてください。受信できないチャンネルの受信レベルを確認してください。（19ページ）<br>・中継局によっては、一部チャンネルのみ送信している場合があります。中継局の送信状況についてはお買い上げの販売店へお尋ねください。<br>・ＬＭ帯アンテナ（13ch ～ 44ch）や、ＭＨ帯アンテナ（31ch ～ 62ch）をご使用の場合、一部チャンネルが受信できません。ＵＨＦ全帯域アンテナ(13ch ～ 62ch）をご使用ください。ご使用のアンテナがどの種類か分からない場合は、アンテナ取付業者にお問い合わせください。 |
| 本体の電源が勝手に切れてしまう |
| ・オフタイマーがセットされていないことを確認してください。(24ページ) |
| 製品本体の電源が入らない |
| ・製品本体の電源ボタンを押して、電源が入ることを確認します。電源が入った後、電源ランプが赤色に点灯していることを確認してください。 |
| 映像の映りが悪い、画面に縞模様が入る、音声にノイズが入る |
| ・アンテナの向きは中継局の方向へ向いていますか？方向がずれていると映りが悪くなります。アンテナ調整は専門業者にご依頼ください。<br>・パソコン・携帯電話・ＡＶ機器・無線機等、磁極を発する機器の近くで使用している場合、ノイズが発生することがあります。これらの機器を本製品から離してください。 |
| モノクロで表示される、色あいが悪い |
| ・『コントラスト』、『色あい』を調整してください。(Menu→映像調整→コントラスト/色あい）(25ページ) |
| 画面が明るすぎる、または暗すぎる |
| ・『明るさ』を調整してください。(Menu→映像調整→明るさ）(25ページ) |
| 画面が曇っている |
| ・常温の室内に数時間放置しても曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。 |

## 地域設定一覧

**本製品に設定されている地域一覧です。お住まいから近い中継局に設定してください。**

| 地域設定 | 詳細エリア設定 |
|---|---|
| 北海道 | 札幌、函館、旭川、帯広、釧路、北見、室蘭 |
| 東北 | 宮城、秋田、山形、岩手、福島、青森 |
| 関東 | 東京、神奈川、群馬、茨城、千葉、栃木、埼玉、山梨 |
| 信越／北陸 | 長野、新潟、石川、福井、富山 |
| 中部／東海 | 愛知、静岡、三重、岐阜 |
| 近畿 | 大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀 |
| 中国／四国 | 広島、岡山、島根、鳥取、山口、愛媛、香川、徳島、高知 |
| 九州／沖縄 | 福岡、熊本、長崎、鹿児島、宮崎、大分、佐賀、沖縄 |

# 製品仕様

| 製品名 | XL-718 |
|---|---|
| 種類 | 地上デジタル防水テレビ　7型 |
| 受信チャンネル範囲 | 日本国内地上波デジタル放送 UHF(13〜62)CATV(1〜12、C13〜63) |
| 受信感度 | 使用地域の電波状況による |
| 表示器 | TFT LCD※ |
| 画素数 | 2400(800RGB)×480 |
| アンテナ | 各種アンテナ接続 |
| 音声方式 | ステレオ |
| スピーカー | 防水タイプ（φ40、8Ω、1W）　２個 |
| 接続端子 | F 型ジャック 、AV3.5ミニタイプ(4極)、電源ケーブル |
| 使用電源 | AC100V（電源ボックス） |
| 電圧 | AC100V（電源ボックス）　DC9V（本体） |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 防水機能 | ＩＰＸ６級耐水相当 |
| 消費電力 | 約11W |
| 動作温度 | 0℃〜+60℃ |
| 保存温度 | -10℃〜+70℃ |
| 本体外形寸法 | 幅 288mm× 高さ 143mm× 奥行き 38mm |
| 質量 | 約 0.8kg( 本体 ) |
| 付属品 | 設置板<br>設置板用ビス(M4×16)：4本<br>専用同軸ケーブル<br>電源ケーブル<br>電源ボックス(含固定用ビス４本)<br>取付型紙<br>取扱説明書<br>設置説明書<br>保証書<br>防水スポンジ<br>操作方法説明シール<br>フリーダイヤルシール<br>六角レンチ棒<br>六角穴付きタッピングビス(M4×10)：２本<br>ビスカバー：２個<br>ビスカバー用ビス(M4×10)：２本 |
| 別売品 | 専用AVケーブル<br>リモコン/リモコンホルダー<br>付属品<br>リモコンホルダー用ビス　M3×18：２本<br>リモコンホルダー用両面テープ ：２枚<br>リモコン用リチウム電池<br>リモコン用工具 |

※　液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、予めご了承下さい。

(注)本製品の外観・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

## □保証書

・本製品には保証書が添付されております。大切に保管してください。
・内容ならびにお買い上げ店名・お買い上げ日の記載があることをお確かめのうえ、大切に保管してください。
・保証書を紛失した場合は、保証書の再発行は行っておりませんので予めご了承ください。
・本製品の保証期間はお買い上げ日より起算して満2年間です。
・保証期間中に修理等をご依頼の場合には、保証書のご提示が必要です。保証書のご提示がない場合、有償での修理となる場合がございます。
・保証書は日本国内においてのみ有効です。

## □アフターサービス

本製品の修理をご依頼される前に、まず本取扱説明書に従って正しく操作を行い、いま一度お確かめください。
確認をしていただきそれでも不具合が改善されない場合には、次の処置をしてください。

### ●保証期間中の修理について

保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で万が一不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき無償にて不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持ち込みいただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付ください。
但し、不具合原因が不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによる結果のものと判明した場合、有償修理とさせていただきます。修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

### ●製品の保証範囲

製品の保証は、製品同梱の付属品を使用し、保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下でのご使用に限り有効です。
万が一正常なご使用状態下でのご使用で不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
但し、下記の場合には保証期間内でも無償修理が受けられません。
・製品と保証書のご提示がない場合。
・保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合。
・お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適正でない場合に生じた故障・破損の場合。
・お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いにより生じた故障・破損の場合。
・当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合。
・火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因により生じた故障・破損の場合。
・日本国外でのご使用の場合。

また、下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
・保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で消耗部品が自然消耗もしくは磨耗した動作不具合の場合。
・お客様で追加接続した、付属品以外の周辺機器との間に生じる動作不具合の場合。
・本製品の不具合、故障などにより直接的または間接的に生じたそのほかの障害。

## □修理・保証内容のお問い合わせ先

〒373-0015 群馬県太田市東新町32番
株式会社ワーテックス　お客様サポートセンター
TEL ：0120-25-3930(フリーダイヤル)
FAX：0276-25-8641
E-mail ：support@watex-net.com
受付時間 ：月～金8:30～12:00 ／ 13:00～17:30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)
ホームページ　http://www.watex-net.com